

第6期

運用報告書(全体版)

東京海上日動 条件付運用型ファンド11-02

【2017年2月15日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「東京海上日動 条件付運用型ファンド11-02」は、2017年2月15日に第6期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／国内／債券／ 特殊型（条件付運用型）
信託期間	2011年2月18日から2018年2月15日までです。
運用方針	主として、高格付（取得時においてAA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。 投資対象とするユーロ円建て債券は日経平均株価の水準に応じて利金額が決定される仕組みです。
主要投資対象	高格付（取得時においてAA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年2月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、設定当初に定める目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	日経平均株価(225種) (参考指数)		債券 組入比率	元残 存本率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率		(参考指数)	騰落率		
(設定日) 2011年2月18日	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	円 10,836.64	% —	% —	% 100.0
1期(2012年2月15日)	9,700	98	△202	△2.0	△2.0	9,260.34	△14.5	99.7	100.0
2期(2013年2月15日)	10,261	113	674	6.9	2.4	11,173.83	20.7	99.6	100.0
3期(2014年2月17日)	10,291	113	143	1.4	2.1	14,393.11	28.8	99.6	100.0
4期(2015年2月16日)	10,219	113	41	0.4	1.6	18,004.77	25.1	99.5	100.0
5期(2016年2月15日)	10,290	113	184	1.8	1.7	16,022.58	△11.0	99.5	100.0
6期(2017年2月15日)	10,155	113	△22	△0.2	1.4	19,437.98	21.3	99.4	100.0

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。

(注) 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税引前)込みです。

(注) 受益者利回りは、設定以来の年率換算利回りです。

(注) 設定日の日経平均株価(225種)は、設定日前営業日の終値です。日経平均株価(225種)は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 設定日の基準価額は当初元本(1万口当たり10,000円)を表示していますが、設定時に1万口当たり募集手数料150円および手数料にかかる消費税相当額7円50銭を信託財産より支弁しましたので、設定日の運用資金は1万口当たり9,842円50銭です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		日経平均株価(225種) (参考指数)		債券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2016年2月15日	円 10,290	% —	円 16,022.58	% —	% 99.5
2月末	10,301	0.1	16,026.76	0.0	99.4
3月末	10,291	0.0	16,758.67	4.6	99.3
4月末	10,304	0.1	16,666.05	4.0	99.3
5月末	10,300	0.1	17,234.98	7.6	99.2
6月末	10,302	0.1	15,575.92	△2.8	99.1
7月末	10,310	0.2	16,569.27	3.4	99.0
8月末	10,301	0.1	16,887.40	5.4	98.9
9月末	10,287	△0.0	16,449.84	2.7	98.9
10月末	10,276	△0.1	17,425.02	8.8	98.8
11月末	10,297	0.1	18,308.48	14.3	98.7
12月末	10,283	△0.1	19,114.37	19.3	98.6
2017年1月末	10,280	△0.1	19,041.34	18.8	98.5
(期末) 2017年2月15日	10,268	△0.2	19,437.98	21.3	99.4

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初株価	10,788.34円 ※2011年2月18日、2011年2月21日、2011年2月22日における日経平均株価終値の平均値 (小数点以下第3位切捨て)											
分配額判定株価	9,709.50円 ※当初株価の90%の水準(小数点以下第3位切捨て)											
ファンドの信託報酬率	信託財産の元本総額に対して年率0.3456%(税抜0.32%) うち委託会社 年率0.2700%(税抜0.25%) うち販売会社 年率0.0432%(税抜0.04%) うち受託会社 年率0.0324%(税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。											
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">高位の目標分配額</th> <th colspan="2">低位の目標分配額</th> </tr> <tr> <td>各期</td> <td>113円</td> <td>各期</td> <td>98円</td> </tr> </table>	高位の目標分配額		低位の目標分配額		各期	113円	各期	98円	※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものです。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。		
高位の目標分配額		低位の目標分配額										
各期	113円	各期	98円									
ユーロ円建て債券の発行体	パークレイズ・バンク・ピーエルシー ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。	<table border="1"> <tr> <th>発行体格付</th> <th>設定日</th> <th>当期末</th> </tr> <tr> <td>スタンダード・アンド・プアーズ</td> <td>AA-</td> <td>A-</td> </tr> <tr> <td>ムーディーズ</td> <td>Aa3</td> <td>A1</td> </tr> </table>	発行体格付	設定日	当期末	スタンダード・アンド・プアーズ	AA-	A-	ムーディーズ	Aa3	A1	
発行体格付	設定日	当期末										
スタンダード・アンド・プアーズ	AA-	A-										
ムーディーズ	Aa3	A1										

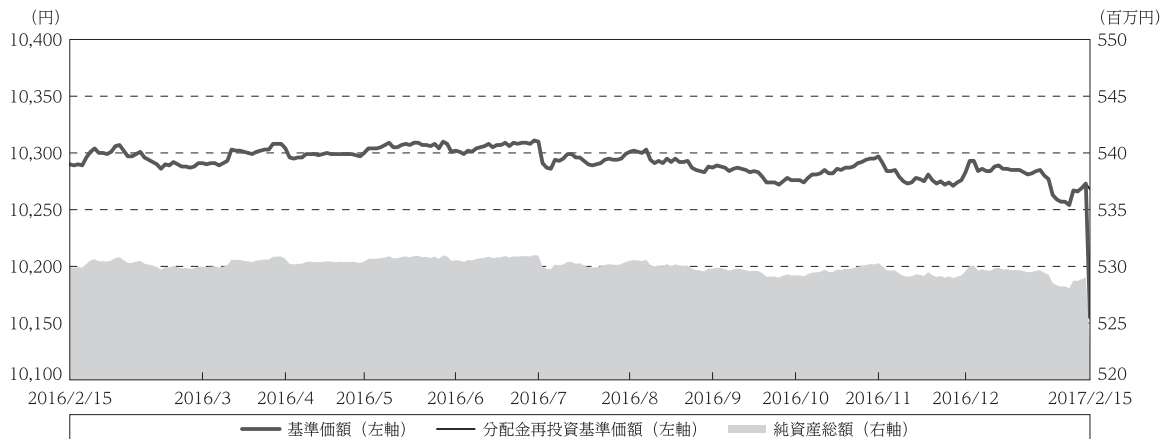
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年2月16日～2017年2月15日)



期 首：10,290円

期 末：10,155円 (既払分配金(税引前):113円)

騰落率：△ 0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2016年2月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・当ファンドが組み入れているユーロ円建て債券の保有期間に応じた収益が積み上がったことが、プラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・当ファンドが組み入れているユーロ円建て債券の発行体であるパークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用スプレッド(国債に対する利回り格差)が不安定な動きとなり、債券の価格が下落したことが、マイナスに寄与しました。

投資環境

(2016年2月16日～2017年2月15日)

(債券市場)

日銀による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」が続く中、債券利回りは低下基調を辿りました。さらに英国の欧州連合（EU）離脱が決定し、株安・円高が進行したことに加え、日銀の追加緩和への期待が高まったことから、2016年7月にかけて一段と低下しました。しかしその後は、日銀が金融政策の「総括的な検証」を行うと表明したことから、金融政策の先行き不透明感が強まり、債券利回りが急上昇しました。9月には、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、短期債利回りはマイナス幅が拡大しました。一方、長期債利回りは、11月中旬以降に米長期金利が大幅に上昇したことを受けてプラス圏に回復した後も、日銀の国債買入れオペ運営の不透明感の高まりを背景に上昇基調を辿りました。期末にかけては、日銀が長期債を対象とした指値オペを実施したことから、長期債利回りの上昇に歯止めがかかりました。

(株式市場)

2016年3月の欧州中央銀行（ECB）の追加緩和を受けて欧米株が上昇したことや、消費税増税先送りへの期待を背景に、株価は上昇する場面もありました。しかし、6月下旬に英国がEU離脱を決定すると、円高が進行しリスク回避の動きが強まったことから、株価は下落しました。その後、英国の政治の不透明感が後退し、米国の早期利上げ観測を受けた円安の進行や、政府の経済対策への期待から株価は上昇に転じました。11月中旬以降は、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、政策に対する期待から米国の株価が上昇し、円安や米金利上昇を背景に株価は一段高となりました。

(クレジット市場)

バークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用スプレッドは、欧州金融機関に対する懸念や英国のEU離脱決定を受けた投資家心理の悪化の影響から、2016年7月上旬にかけて拡大しました。その後は、欧州金融機関に対する懸念や英国の政治に対する不透明感が後退し、信用スプレッドは縮小しました。9月下旬以降は、欧州金融機関の経営不安に加え、英国がEU離脱に向けて強硬な姿勢で臨むとの懸念等から、一時的に拡大する場面もありました。しかし、米国のトランプ次期政権に対する期待感を背景に欧米の株価が上昇したことを受け、期末にかけては縮小傾向となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年2月16日～2017年2月15日)

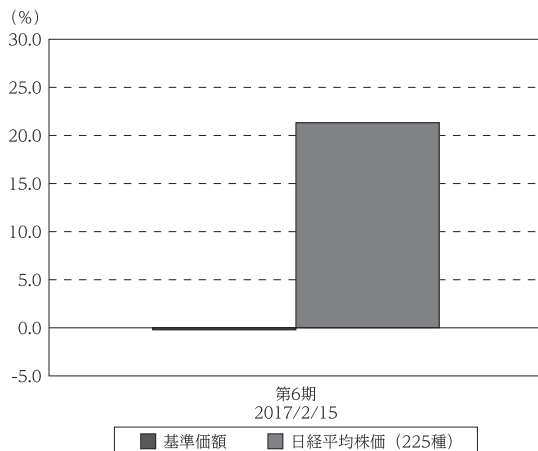
当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日（2011年2月18日）に買い付けた、日経平均株価（225種）の水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つバークレイズ・バンク・ピーエルシー発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

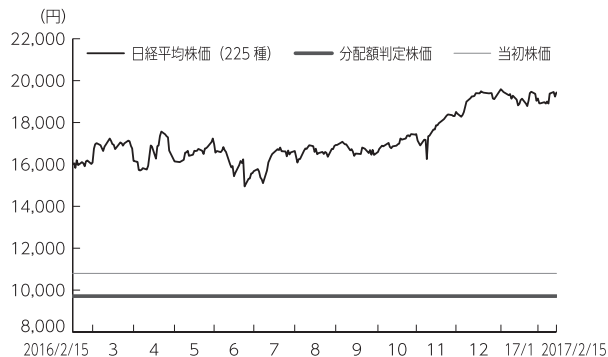
(2016年2月16日～2017年2月15日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている日経平均株価（225種）の騰落率を21.5%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



日経平均株価（225種）の推移



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、日経平均株価（225種）です。

分配金

(2016年2月16日～2017年2月15日)

当期の分配金は、分配額判定日（2017年2月1日）の日経平均株価（225種）の終値が19,148.08円となり、分配額判定株価である9,709.50円を上回っていたため、高位の目標分配額である1万口当たり113円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

○1万口当たりの費用明細

(2016年2月16日～2017年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.262)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.042)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.031)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.010	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	36	0.346	
期中の平均基準価額は、10,294円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年2月16日～2017年2月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年2月16日～2017年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年2月15日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券 (含む投資法人債券)	514,000 (514,000)	520,013 (520,013)	99.4 (99.4)	— (—)	— (—)	— (—)	99.4 (99.4)
合 計	514,000 (514,000)	520,013 (520,013)	99.4 (99.4)	— (—)	— (—)	— (—)	99.4 (99.4)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
BARCLAYS BANK PLC 20180209	1.36	514,000	520,013	2018/2/9
小 計		514,000	520,013	
合 計		514,000	520,013	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2017年2月15日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 520,013	% 98.2
コール・ローン等、その他	9,700	1.8
投資信託財産総額	529,713	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年2月15日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	529,713,434
コール・ローン等	9,584,728
公社債(評価額)	520,013,800
未収利息	114,906
(B) 負債	6,742,026
未払収益分配金	5,819,500
未払信託報酬	894,669
未払利息	8
その他未払費用	27,849
(C) 純資産総額(A-B)	522,971,408
元本	515,000,000
次期繰越損益金	7,971,408
(D) 受益権総口数	515,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,155円

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1,0155円です。

(注) 当ファンドの設定元本額は515,000,000円、期首元本額は515,000,000円、期末における元本残存率は100.0%です。

○損益の状況 (2016年2月16日～2017年2月15日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	7,891,417
受取利息	7,761,409
その他収益金	130,787
支払利息	△ 779
(B) 有価証券評価差損益	△ 7,196,000
(C) 信託報酬等	△ 1,835,075
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,139,658
(E) 前期繰越損益金	14,930,566
(F) 計(D+E)	13,790,908
(G) 収益分配金	△ 5,819,500
次期繰越損益金(F+G)	7,971,408

(注) 損益の状況の中で、(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。

(注) 収益分配金
計算期間末における元本超過額13,790,908円と費用控除後の配当等収益6,056,342円のうち、多い金額13,790,908円を分配対象金額として5,819,500円(10,000口当たり113円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	113円
支払開始日	2017年2月21日(火)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店

〈お知らせ〉

該当事項はございません。